

あれ? 何か
 おかしいぞ!

市民のみなさん、勘違いさせられていませんか?

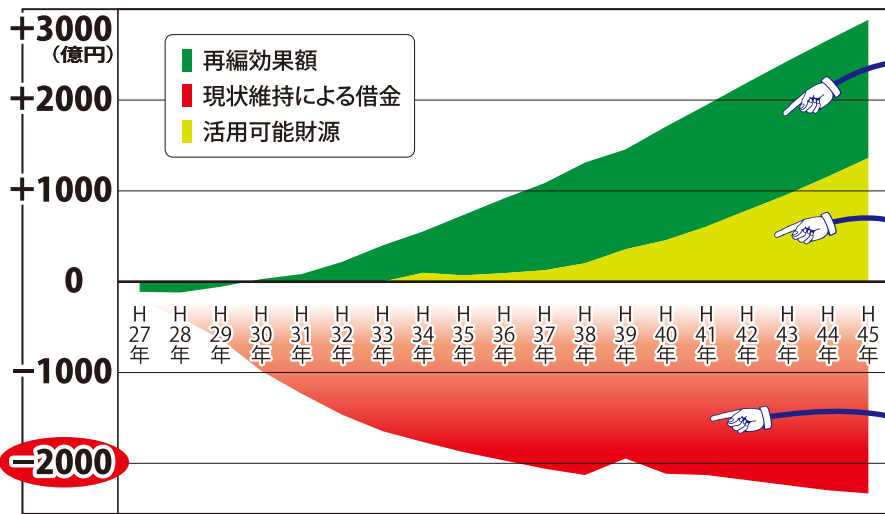
市長選で使われた、あの有名な3色グラフを完全論破すると

政府でも財政の試算は
 10年先ぐらいなのに...

平成45年
 までって!!

本来なら足しては
 いけないのに...

大きく見せたい
 だけ!?



「再編効果額ってこんなに?」

これはごまかし!

- 入れてはいけない額が入っている!
 ex) 地下鉄の民営化や、市政改革による効果額など

「活用可能財源も?」

これはまやかし!

- そもそも、意味のない数字!
- 都構想以降10年間は余裕がないうえ、区間財政調達や交付税に頼ることに

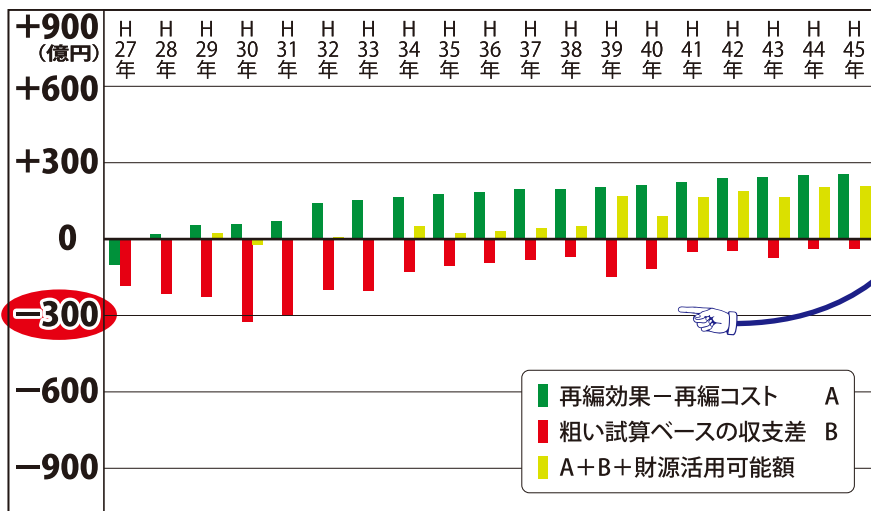
「現状維持だとすごい赤字?」

これは間違い!

- 様々な改革で対応している!
- 収支のマイナスは繰り越さない!

実際には

法定協議会の資料から忠実に製作したグラフ



会計は年度ごとに完結するもの

これが本当!
 だから赤字は膨らまない!

平成に入ってから25年間、
 大阪市はずっと黒字!



さらに、
 こんなことも!

区割り案の絞り込み提案を、突然前倒し

【第1回法定協議会で市長・知事が提示したスケジュールでは...】

市長・知事らが突然の絞り込み提案

反対多発!

本来の
 絞り込みはココ

第1ステージ

制度設計のもととなる
 区割り・事務分担の
 論点の協議

第2ステージ

パッケージ案の
 提示

現在はまだ
 この段階!

未開催

第3ステージ

特別区の設置の日、
 区の名前、区役所の位置、
 議会(区議会定数など)、
 府の名称

未開催

第4ステージ

区割り案の絞り込み、
 協定書の取りまとめのため、
 トータルで制度設計を協議

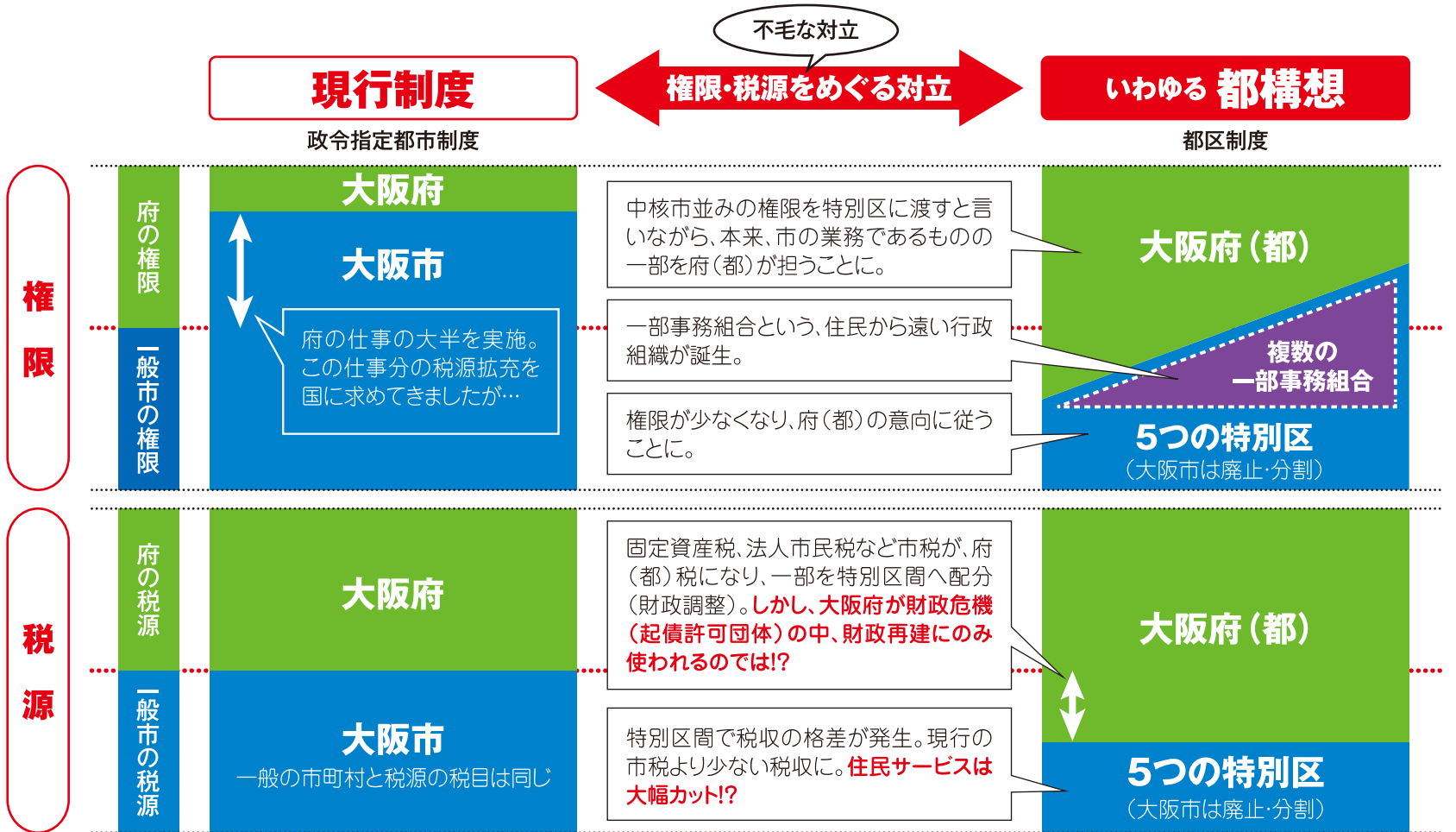


大阪の大都市制度

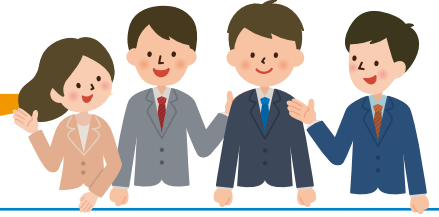
大阪の自治制度(大都市制度)は、明治時代から、大阪府と大阪市が対立する歴史の繰り返し…

大阪府と大阪市のあり方。いま本当に必要な制度は いわゆる都構想ではなく、新たな制度です。

府と市の権限・財税源の配分イメージ<現行制度vsいわゆる都構想>



対立から協調の時代へ



自民市議・府議が提案している新たな制度

大阪広域戦略協議会 愛称:大阪会議



- 機能役割**
- 統一戦略の構築
 - 一体的な広域行政
 - 府・市のパワーを活かす
 - 将来の道州制を視野に

新たな地方自治法改正案が閣議決定されました。

- 改正案**
- 府県と指定都市とで「調整会議」を設置
府県と指定都市の意見が分かれた時は、国が仲裁・関与
 - 指定都市内の行政区を「総合区」にして権限強化

背景

- 大阪府を解体しないと解決できない二重行政はなかった
- なにわ筋線、阪神高速淀川左岸延伸部など必要な広域行政は限定的になってきた
- 経済圏・生活圏は行政エリアを超え、変化はめまぐるしく、行政エリアや制度変更は追いつかない
- 大阪府・市以外の府県、市との連携が不可避

国で検討されている自民党案で、不毛な対立・協議に終止符を!

都構想、決めるのはまずは議会です。市民への影響が大きいため最後の砦として住民投票があります。

